

# 中山間地域農業の維持・発展に向けた 経営関連マニュアル・ツールの作成

農業研究所の用水の流れ

III 水門、分水、入・排水口等の位置や用水の流れ等の地区内の基本情報 (例)

「水田の用水・水路・畦畔管理等における基本情報」の記入マニュアル

## 「岡山県版広域連携マニュアル&事例集」

1) 任意組織T (津山市)

任意組織Tは、津山地域において集落営農法人の質的強化、支援強化を図り、地域の持続的な農業の発展に資するための設立された連携組織で19集落営農法人(現在20法人)が参加しています。設立に向けては法人への聞き取り調査やワークショップを通じて自発形成が進められました。

現状は、課題共有のための緩やかな連携段階にあり、研修会等を中心に全体にメリットの見える活動を中心に取り組んでいます。今後の活動については現状維持の意向が6割、充実させたいの意向が4割であり、連携組織全体では今年度を維持しつつ、組織内でプロジェクト活動を充実させていくことが期待されます。

連携組織の構築モデルとの関係

任意組織Tと連携組織の構築モデルとの関係

連携組織の構築モデル

任意組織Tの活動事例

連携組織の構築モデル

任意組織Tの活動事例

## 広域連携向け「農業機械の稼働状況の見える化ツール」

コンパイン 機械ごとに稼働した日に「○」をつけてください

No.	2016年				
	①	②	③	④	⑤
集落営農組織A	3条	4条	4条	4条	4条
集落営農組織B					
集落営農組織C					
集落営農組織D					
集落営農組織E					

2016年

降水量 (mm/日) 装備数 (台)

稼働数 (●: 土日祝)

降水・稼働状況の見える化ツール

## 開発のねらい

中山間地域農業の維持・発展のため、地域の担い手が持続可能な経営体制を確立することが重要です。そこで、担い手の畦畔・用排水管理の負担軽減につながる情報の記入マニュアル及び経営効率化や次世代確保対策として期待される広域連携の取組を支援するためのマニュアルとツールを作成しました。

## 新技術の概要

- 「水田の用水・水路・畦畔管理等における基本情報」の記入マニュアルは、口頭継承されてきた用水・水路・畦畔等の管理方法を文書化する際に活用できます。
- 「岡山県版広域連携マニュアル&事例集」は、①連携組織の構築モデル、②連携事業の運営モデル、③事例集で構成され、広域連携の組織設立や事業運営の参考資料として活用できます。
- 広域連携向け「農業機械の稼働状況の見える化ツール」は、機械の共同購入・共同利用を検討する際に、農業機械の稼働状況を見える化できます。

## 活用場面

本マニュアル・ツールを活用することで、集落の用水・水路・畦畔等の管理方法の継承、担い手の経営効率化や次世代確保が進み、地域農業の維持・発展につながります。